

村上・岩船地域自立支援協議会 かわら版

～このまちに住んで良かったと言える地域づくりを目指して～

第27号（令和8年8月発行）

〈委員の方々のご紹介・リポート〉

今回は「村上市ろうあ協会 小池 洋美 会長」です。



「手話は言語である」

村上市ろうあ協会、会長の小池洋美と申します。

当協会は、村上市内在住のろう者（耳が聞こえない人）が集い、茶話会や調理会といった年間行事を開催して交流を深めたり、悩み事を共有したりしています。

『手話は言語である』ということをご存知でしょうか？

日本語や英語と同じように、『手話』も言語の1つです。耳が聞こえる人は生まれたときから音声言語を聞いて覚え、日本語で会話をしますよね。耳が聞こえない場合は、視覚情報を見て覚え、視覚言語である手話で会話をするわけです。

手話には2つの種類があります。1つは『日本語対应手話』と呼ばれ、日本語の文法に手話の単語をあてはめて表します。難聴者（耳が聞こえにくい人）や中途失聴者（日本語を獲得した後に失聴した人）、加齢性難聴者（高齢になって耳が遠くなった人）に適しています。

もう1つは『日本手話』です。生まれつきまったく聞こえず、“第一言語が日本語ではなく手話”である人が、目で見て理解・記憶した内容を視覚的に表す手話で、日本語とは語順や文法体系が異なります。例えば、「今日は天気が良いです」という文章を日本語対应手話で表す場合は「今日は／天気／が／良い／です」と、相手を見ながら1つ1つの手話単語を日本語と同じ語順で表し、口の形も日本語と同じように動かします。一方、日本手話の場合は「今日（相手を見る）／天気（上空に視線を向ける）／良い（感嘆を含んだ表情）／指さし（上空）／（相手を見る）」といったように、表す手話単語が異なったり、単語以外の動作（視線や表情など）も大事な文法要素として表出したりと、様々な違いがあります。

それから、補聴器についての誤解が多いのですが、補聴器を装着すれば、必ず聞こえる人並みに聞こえが明瞭になるわけではありません。視力が悪い場合、眼鏡を装着すれば改善の可能性は高いと思いますが、補聴器の効果は人それぞれ異なります。中途失聴者や加齢性難聴者には効果が期待できますが、ろう者には効果が得られないケースが多く、会話がはっきり聞こえず、雨風の音の判別もできない場合があります。なんらかの音を感知し、周囲の事象を把握するために補聴器を装着している人がいるわけです。

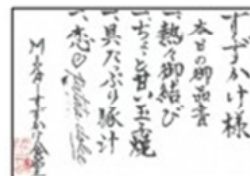
どの程度聞こえるのかは人によって異なりますので、『補聴器を装着している＝聞こえる＝音声で話しかけても大丈夫』と先入観で判断しないようにご理解いただければ幸いです。

このトークの
手話を動画で
観ることができます。
⇒



障がい者施設の地域との交流のご紹介

～ミライすずかけ食堂～



毎月1回「すずかけ多目的ホール」において、素敵な皆さんが昼食を提供してくれています。今では毎回用意した120食が完売してしまうほど…

近隣のみなさん、施設の利用者と職員、福祉関係者の方々、情報をもとに集まってくれるみなさんなど、障がいがあるひともないひとも一緒に空間でおいしい昼食を楽しんでいます。みなさんも良かったら是非！！（完売の際はごめんなさい<(_*)>）



今日のメニュー
-とろろしりしり飯
-鶏カレー3食
-春雨中華ソフ
-大根の時増汁
-お栗のスイーツ
令和6年2月
お栗すずかけ
食堂



事前予約なしで、どなたでも利用できます。
【お問い合わせ】すずかけ 0254-66-8045



ふれあい福祉健康フェア・ひきこもりフォーラムを開催しました

関川村と福祉関係団体では、福祉や健康の関心を高めてもらうことを目的に、令和8年3月8日に「ふれあい福祉健康フェア」と「ひきこもりフォーラム」を開催しました。

子どもたちから高齢の方まで、多くの方にご来場いただき、福祉を身近に感じながら、世代を超えて交流できる一日となりました。



～ふれあい福祉健康フェア～

福祉施設の皆様による作品展示や物品販売、脳年齢や骨密度の健康チェック、福祉用具の体験など様々なブースが並びました。

誰でも参加できるニュースポーツ体験やスタンプラリー、キッチンカーなどの飲食ブースもあり、終日笑顔であふれていました。

ステージでは、地元団体によるキッズダンスや、手話劇、太極拳などが披露され、多くの来場者から温かい拍手が送られました。

福祉フェア最後のステージイベントでは「喜っ喜大会」が行われ、豪華景品を懸けて、会場が盛り上がりました。
※「喜っ喜(きっき)」とは関川村の方言で「じゃんけん」という意味。

～ひきこもりフォーラム～

NPO 法人新潟ねっとの村山氏、新潟大学准教授の中村氏によるトークセッションでは、「なぜひきこもるのか」「自分らしさってなんだろう」等いくつかのテーマに沿って対話していただきました。

また、NPO 法人プエルタ・ハルの代表とひきこもり当事者の方々からは、ひきこもるきっかけや外に出るきっかけ等、ご自身の体験や当時の思いをお話しいただきました。

参加者は、一人ひとりが抱える悩みや葛藤、周囲との関わり方の大切さについて理解を深めるとともに、当事者の生の声に耳を傾ける貴重な機会となりました。



ピアサポートを知っていますか？

引用 ピアサポート講座テキスト
ピアサポートを文化に！
著者 相川章子／ピア文化を広める研究会

【仲間だからこそ分かり合える、精神障がい者のピアサポート】

同様のつらい経験をしている仲間同士による対等な関係性のなかで生まれる支え合いの営みのすべてです。

ピア(Peer)は仲間、対応、同僚という意味です。ピアサポートには自然発生的に生まれるインフォーマルなピアサポート、精神障害のある同士、もしくは家族同士など、意図的に集まったフォーマルなピアサポート、さらに仕事として働いているピアサポーターやピアスタッフなど多様な形があります。

【ピアサポーター／ピアスタッフ】

自身の人生経験(経験的知識)をいかして、ピアサポートの感覚を用いて自身と同様の経験をしている人のリカバリーに寄与・貢献する新たな職種です。雇用契約を締結し、報酬給与を得ている人から、ボランティアで自助グループやピアサポートグループでファシリテーターとして活動する人などさまざまです。前者をピアスタッフ、後者をピアサポーターと定義する場合があります。



【リカバリーストーリー】

リカバリーの途上にある人が語る人生の(一部分の)物語(体験談)

【ピアサポート(ピアサポーター)についての講演会があります】

令和8年度 精神保健福祉協会県北支部総会・記念講演会

日 時 令和8年10月16日(金) 14時15分～16時15分

会 場 村上市教育情報センター 視聴覚ホール

演 題 仮:「誰もが安心できる地域を考える

～リカバリーストーリーがつなぐ支えあいについて～」

講 師 埼玉県立大学社会福祉子ども学科 相川章子教授

体験発表 ピアサポートグループ Hands to hands メンバー

申込み 不要

参加費 無料

○お問い合わせ 新潟県精神保健福祉協会県北支部事務局
(新発田地域振興局健康福祉環境部地域保健課内)
電話 0254-26-9133

～村上・岩船地域自立支援協議会 事務局～

◎村上市障がい者基幹相談支援センター 村上市三之町1番1号

☎0254-75-5830

◎関川村役場 健康福祉課 岩船郡関川村大字下関912番地

☎0254-64-1472

◎栗島浦村役場 保健福祉課 岩船郡栗島浦村字日ノ見山1513番地11

☎0254-55-2111

◎関川村社会福祉協議会 岩船郡関川村大字上関1244番地1

☎0254-64-1400